

兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol.4



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2009 Autumn-Winter



Photo : Taiyou to Tou 2009

— 平成21年 —

■特別展「古代祭祀の世界」	2
■調査研究「賀古駅家を調査する」	4
■シリーズ学芸員が選ぶ「私のイチオシ館藏品1」	5
■古代体験で楽しみませんか	6
■古代体験学習交流会「古代体験・秋まつり」	7
■イベントスケジュール	8

特別展

「古代祭祀の世界」

全国各地で発掘された出土品の中には、「祭祀遺物」と呼ばれる実用品でないもの、非日常的な呪術や儀礼・信仰などの精神生活に関わるものがたくさんあります。縄文時代の土偶・石棒、弥生時代の銅鐸・銅剣・銅戈、古墳時代の鏡・剣・玉があり、それを滑石や土で作った鏡や剣などの模造品、奈良・平安時代の木で作られた人形・馬形などの模造品がその代表です。

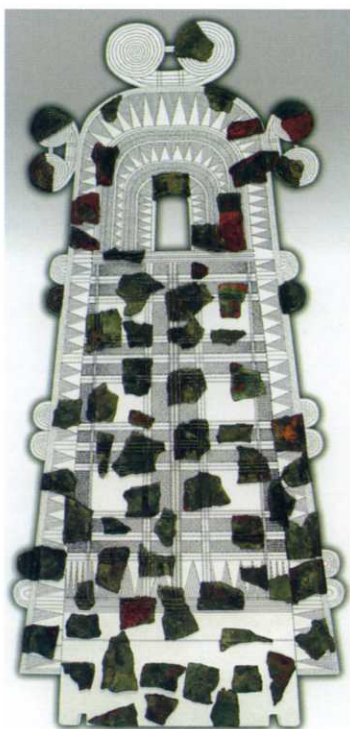
これら祭祀遺物の変遷は、短期で見ると変化がないものでも、時代を越えた長期的な眼で捉えると、「断絶・継承」されたものが見え、当時の社会や国家が自分達の未来を決めるために、選択した「精神世界」が浮かび上がってくるのです。

本展覧会では、こうした「古代祭祀の世界」を九州沖ノ島遺跡や都城遺跡の出土品、兵庫県内各時代の祭祀遺物でご紹介いたします。

古代人の精神世界をお楽しみください。

第1章 「土偶と石棒のまつり—縄文時代—」

土偶と石棒に象徴される、縄文社会の活力と生命の誕生並びに豊穰の祭祀から、原始・古代人の精神世界に入ってみましょう。



第2章 「銅鐸から銅鏡のまつりへ—弥生時代—」

水稻耕作の開始に伴う石棒・土偶の縄文祭祀の変質、そして大陸から伝わった青銅器を改変した銅鐸・銅剣祭祀、さらに銅鐸の否定(断絶)から生まれた銅鏡祭祀を取り上げます。

ここで注目して欲しいのは、豊岡市日高町出土の久田谷破砕銅鐸です。

久田谷(豊岡市)出土
「銅鐸」

第3章 「王権と土着神のまつり—古墳時代—」

倭王権祭祀の鏡・剣・玉(いわゆる三種の神器)が主流になると、これらを石や土などで作る模造品も普及していきました。



国宝 宗像・沖ノ島遺跡(福岡県)出土
「三角縁神獸鏡」



国宝 宗像・沖ノ島遺跡(福岡県)出土
「石釧・車輪石」



河高・上ノ池遺跡(加東市)出土
「土製模造品」

